

プラズマ・核融合学会誌

第94巻第11号

2018年11月

小 特 集	核融合原型炉における運転計画と商用炉に向けた戦略	
	1. 原型炉運転計画の背景と目的	日 渡 良 爾 533
	2. 炉心制御・プラント運転技術	日 渡 良 爾, 坂 本 宜 照 536
	3. ダイバータ	増 崎 貴, 朝 倉 伸 幸 540
	4. プランケット	河 村 繕 範, 染 谷 洋 二 545
	5. トリチウムサイクル・取扱技術	片 山 一 成 550
	6. 安全技術, 放射性廃棄物処理技術, プラント保守技術	染 谷 洋 二, 宇 藤 裕 康 555
	7. まとめ	日 渡 良 爾 560
講 座	プラズマおよび気相成長を用いたナノ材料合成	
	4. プラズマ化学気相反応を利用したグラフェンの合成	林 康 明 563
	5. CVD 法による炭素ナノコイル合成	須 田 善 行 567
	6. 気液界面プラズマを用いたナノ複合材料合成	金 子 俊 郎 570
サ ロ ン	核融合原型炉開発に向けた新推進方策・ロードマップの策定にあたり	
	 松 浦 重 和, 小 川 雄 一, 岡 野 邦 彦, 上 田 良 夫, 秋 山 毅 志	575
追 悼		583
Plasma & Fusion Calendar		584
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		585
インフォメーション		586
	ITER だより ⁽⁷²⁾	
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告 ⁽⁶⁷⁾	
	【会議報告】12th International Conference on Open Magnetic Systems for Plasma Confinement (OS 2018) / 第30回 Symposium on Fusion Technology (SOFT2018)	
	JT-60共同研究優秀賞の選考結果について	
	【人事公募】	
本 会 記 事		595
	【こちら編集委員会です】発表！2018年上半期の学会誌（1～6月号）でもっとも多くダウンロードさ れた記事はこちら！	
編 集 後 記		

表紙の絵

擬似液体からチタン合金表面に堆積したリン酸カルシウム薄膜。(a)は未処理の合金試料, (b)は大気圧プラズマジェットにより表面に窒化物層を形成した合金試料を用いている。薄膜最表面の外観は変わらないように見えるが, 堆積初期における膜の成長速度は後者が速いという結果を得た。これは, 大気圧プラズマ窒化によりチタン合金の硬組織適合性が向上する可能性を示唆している。(Ryuji SANNOMIYA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.13, 1306120 (2018) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel:(03)3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用, 転載, 翻訳等)に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。